

参考資料

※医師票及び看護職票、コメディカル票は実際のWEB調査画面とは異なる

病院の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実のための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博 (公益財団法人大原記念労働科学研究所)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業における当委員会では、病院における勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施しています。医療機関の勤務環境等に関して継続的に状況を把握し、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、今年度もすべての病院を対象に標記アンケート調査を実施します。本アンケート調査は、今後の医療勤務環境改善の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターでより具体的に活用できるようにする等の目的から、識別番号で病院を把握させていただきます。

なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を願います。

敬具

《記入にあたってのお願い》

1. 貴院の勤務環境改善の取組状況等について把握している事務部門の担当者の方が記入してください。
2. 回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
3. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**9月20日(金)までに**郵便ポストに投函してください。

■本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5F
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
担当：笠原・中村
TEL (7/24作)：0120-304-603 (平日10:00~17:00)
FAX：03-3432-1837

問 1. 開設主体を教えてください。(1つに○)

1. 国等 (厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等 (都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関 (日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体 (健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他 (公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 2. 病床区分のうち、最も多い病床を教えてください。(1つに○)

※最も多い病床区分の病床数が同数の場合は、一般病床を対象としてください。

1. 一般病床
2. 感染症病床
3. 療養病床
4. 精神病床
5. 結核病床

問 3. 問 2で回答した病床区分の病床利用率(小数点第1位まで)と平均在院日数を教えてください。(数字を記入)

〈平成 30 年度〉 病床利用率

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

 %
平均在院日数

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

 日

〈令和元年 6 月〉 病床利用率

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

 %
平均在院日数

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

 日

・病床利用率(%) = $\frac{\text{在院患者延数} \times 100}{\text{病床数} \times \text{日数}}$ (日数：年は365、6月は30)
 ・平均在院日数(日) = $\frac{\text{在院患者延数}}{\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}} \times 1/2$

問 4. 医療機能のうち、病床数が最も多い機能を教えてください。(1つに○)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

医療機能は、病床機能報告の考えと同様です。

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたる療養が必要な患者を入院させる機能等

問 5. 標榜している診療科目を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 内科 9. 皮膚科 17. 呼吸器外科 25. 整形外科 33. 婦人科
- 2. 呼吸器内科 10. アレルギー科 18. 心臓血管外科 26. 形成外科 34. リハビリテーション科
- 3. 循環器内科 11. リウマチ科 19. 乳癌外科 27. 美容外科 35. 放射線科
- 4. 泌尿器科(腫瘍科) 12. 感染症内科 20. 気管食道外科 28. 眼科 36. 麻酔科
- 5. 腎臓内科 13. 小児科 21. 消化器外科(腫瘍外科) 29. 耳鼻いんこう科 37. 病理診断科
- 6. 神経内科 14. 精神科 22. 泌尿器科 30. 小児外科 38. 臨床検査科
- 7. 腫瘍内科(放射線科) 15. 心療内科 23. 肛門外科 31. 産婦人科 39. 救急科
- 8. 血液内科 16. 外科 24. 脳神経外科 32. 産科 40. その他

問 6. 令和元年 6 月 30 日現在の職員について伺います。

①職員数(正規職員・非正規職員を含む実人数(常勤換算ではありません))

②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数(※1)

③①のうち、短時間勤務の正規職員数(※2)

を教えてください。(産休・育休・休職など稼働していない職員は除く)(数字を記入)

| | ①職員数(正規職員・非正規職員を含む) | ②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数 | ③①のうち、短時間勤務の正規職員数 |
|------------|---------------------|---------------------|-------------------|
| 全体 | () 人 | () 人 | () 人 |
| うち、医師数 | () 人 | () 人 | () 人 |
| うち、看護職(※3) | () 人 | () 人 | () 人 |

※1:フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数)での勤務をいう(育児等による短時間勤務は除く)。

また、正規職員とは、雇用期間の定めのないものをいう(パート労働者等は除く)。

※2:短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3:本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、看護助手を指し、看護助手は含みません。

問 7. 平成 30 年度の 1 年間に夜間勤務(三交代の準夜勤・深夜勤、二交代の夜勤)を行わない期間が 1 か月以上あった看護職員数(※4)を教えてください。(数字を記入)

□ □ □ 人

※4:正規職員に限定し、パート労働者は除きます。また、産休者も除きます。1 か月間に少数回でも夜勤を行っている、あるいは当直・オンコールを行っている看護職員は含みません。また、同一の看護職員が平成 30 年度の複数の期間に分けて、夜間勤務を行わなかった場合は 1 名として計算してください。

問 8. 平成 30 年度の 1 年間に正規看護職員の離職率(※5)を教えてください。

(数字を記入)

□ □ □ . □ □ %

※5:離職率=平成 30 年度退職者数÷平成 30 年度の平均職員数×100
ただし、平均職員数=(年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数)÷2

フルタイム勤務の正規職員について伺います

問 9. 就業規則等で定められたフルタイム勤務の医師及び看護職の週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数)を教えてください。

(令和元年 6 月 30 日時点)(数字を記入)

(医師) 週 □ □ 時間 □ □ 分

(看護職) 週 □ □ 時間 □ □ 分

※6(夜勤専従看護師) 週 □ □ 時間 □ □ 分

※6:夜勤専従看護職がいる場合のみ、いない場合は空白で結構です。

問 10. 労働時間の管理方法を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. タイムレコーダー・タイムカード 5. 自己申告
- 2. IC カード 6. その他 ()
- 3. 電子カルテなどのログ 7. 労働時間を管理していない
- 4. 出勤簿・管理簿

問 11. 時間外労働の把握の方法について教えてください。(1つに○)

- 1. 自己申告
- 2. 上司からの命令(事前または事後)で申告
- 3. その他 ()

問 12. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の月平均労働時間数を教えてください。

(平成 30 年度)

| | | | | | |
|-----|-----|-----|----|-----|---|
| 医師 | 月平均 | □ □ | 時間 | □ □ | 分 |
| 看護職 | 月平均 | □ □ | 時間 | □ □ | 分 |

(令和元年 6 月)

| | | | | | |
|-----|-----|-----|----|-----|---|
| 医師 | 月平均 | □ □ | 時間 | □ □ | 分 |
| 看護職 | 月平均 | □ □ | 時間 | □ □ | 分 |

問 13. フルタイム勤務正規職員のコメディカル(※7)のうち月平均時間外労働時間が最も長い職種を教えてください。(1つに○)

※7:当調査票でのコメディカルとは、医師及び看護職以外の職員(事務含む)を指します。

- 1. 薬剤師 4. 臨床工学技士 7. MSW・PSW 等 10. 医師事務作業補助者
ソーシヤルワーカー
- 2. 臨床検査技師 5. 理学療法士・作業療法士などリハビリテーション職 8. 歯科衛生士 11. その他 ()
- 3. 診療放射線技師 6. 栄養士(管理栄養士含む) 9. 事務

問 14. フルタイム勤務正規職員の時間外労働手当について伺います。何に基づき、時間外労働手当を支払っていますか。(該当するものをすべてに○)

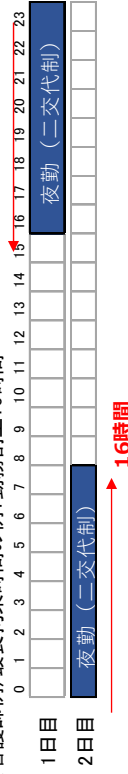
- 1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテ等のログの通りに支払っている(制限なし)
- 2. 申告時間通りに支払っている(制限なし)
- 3. 上限時間が決められている職員に対しては、それを上回る時間については支払っていない
- 4. 上司が時間外労働を認めるとき以外は支払っていない
- 5. 年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
- 6. 時間外労働手当は支払っていない
- 7. その他 ()

問 15. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和元年6月の勤務割(※8)における最長連続勤務時間(当直は含まない)とそのうちの休憩時間を教えてください。(数字を記入)

※8: 勤務割・・・ソフト表上や勤務計画表上のこと

| | | | | | |
|-------|-------|----|----------------------|----------------------|---|
| 〈医師〉 | 最長 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |
| | うち、休憩 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |
| 〈看護職〉 | 最長 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |
| | うち、休憩 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |

〈看護師例〉最長拘束時間の例: 勤務割上16時間



問 16. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和元年6月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えてください。(数字を記入)

| | | | | | |
|------|----|----|----------------------|----------------------|---|
| 〈医師〉 | 最短 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |
| | 最短 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |

〈看護師例〉最短の例: 連続夜勤 8時間



問 17. フルタイム勤務正規職員の医師の令和元年6月の当直時の最長連続勤務時間(当直前後の勤務時間を含む)とそのうちの休憩時間を教えてください。(数字を記入)

| | | | | | |
|------|-------|----|----------------------|----------------------|---|
| 〈医師〉 | 最長 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |
| | うち、休憩 | 時間 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 分 |

問 18. 職員の兼業を把握していますか。(1つに○)

- 1. 把握している
- 2. 把握していない
- 3. 兼業を禁止している

休日・休暇について伺います

問 19. 平成30年度の年間所定休日数(※9)を教えてください。(数字を記入)

年 年 日

※9: 就業規則に定める職員の所定の休日の合計(年次有給休暇や慶弔休暇は含まない)

問 20. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の、平成30年度の年次有給休暇取得率を教えてください。(数字を記入)

| | | | | |
|-------|----------------------|---|----------------------|---|
| 〈医師〉 | <input type="text"/> | ・ | <input type="text"/> | % |
| 〈看護職〉 | <input type="text"/> | ・ | <input type="text"/> | % |

※年次有給休暇取得率(%) = 有給休暇取得日数/各人の付与日数(昨年度からの繰り越し分は含めない) × 100

短時間勤務の当直・夜勤について伺います

問 21. 正規職員である短時間勤務の医師も当直(宿直・日直)を行っていますか。(1つに○)

- 1. 当直(宿直・日直)を行っている
- 2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
- 3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
- 4. 当直(宿直・日直)は行っていない
- 5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 22. 正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか。(1つに○)

- 1. 行っている
- 2. 行っていない
- 3. 正規職員である短時間勤務の看護職はいない

医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います

問 23. 医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。

(1つに○)

- 1. 重要な課題である } ⇒問23-1へ
- 2. やや重要な課題である } ⇒問23-2へ
- 3. あまり重要な課題ではない
- 4. 重要な課題ではない

問 23-1. 問 23 で 1 又は 2 と回答した病院にお尋ねします。問 23 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 質の高い医療の提供、質の向上のため
- 2. 人材の確保・定着のため
- 3. 職員の業務負担軽減のため
- 4. 職員の健康やメンタルヘルスの維持・向上のため ()
- 5. 職員のワークライフバランス確保のため
- 6. 当然の義務であるため
- 7. その他 ()

問 23-2. 問 23 で 3 又は 4 と回答した病院にお尋ねします。問 23 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 現状で問題がないため
- 2. やや問題はあるが、喫緊の課題ではないため
- 3. 既に対策に取り組んでいるため
- 4. その他 ()

問 24. 医療従事者の勤務環境に関する取組状況について教えてください。

(1つに○)

- 1. 職種を問わず取り組んでいる
 - 取組の継続年数を教えてください
 - 1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満 4. 5年以上 ()
- 2. 一部の職種で取り組んでいる (最も早く取り組んだ職種：)
 - 最も早く取り組んだ職種の取組の継続年数を教えてください
 - 1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満 4. 5年以上
- 3. あまり取り組んでいない } ⇒問 26
- 4. 全く取り組んでいない }

問 25. 問 24 で 1 「職種を問わず取り組んでいる」又は 2 「一部の職種で取り組んでいる」と回答した病院にお尋ねします。(3又は4と回答した人は問 26へ) 医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組態様について教えてください。

(各項目について該当するもの1つに○)

(下記の①～⑦は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成30年3月)に記載している、マネジメントシステムの7つのステップに対応しています。)

| | 取り組んでおり、支援 | センターを活用している | 取り組んでいるが、支援していない | 取り組んでいない |
|---|------------|-------------|------------------|----------|
| ①勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している | 1 | 1 | 2 | 3 |
| ②経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる | 1 | 1 | 2 | 3 |
| ③勤務環境改善のための推進体制(委員会・プロジェクトチーム、専門部署・専任担当者等)を設置している | 1 | 1 | 2 | 3 |
| ④勤務環境の現状の把握・分析を行っている | 1 | 1 | 2 | 3 |
| ⑤勤務環境改善に向けた達成目標を設定している | 1 | 1 | 2 | 3 |
| ⑥勤務環境改善に向けた対策と行動計画(アクションプラン)を策定している | 1 | 1 | 2 | 3 |
| ⑦取組の達成状況や成果を確認・評価し、目標や計画の見直し、取組方法の改善等につなげている | 1 | 1 | 2 | 3 |
| ⑧その他 () | 1 | 1 | 2 | 3 |

本調査における支援センターとは、「医療勤務環境改善支援センター」のことです。

「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医師法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 25-1. 問 25 の項目 5 に取り組んでいる病院にお尋ねします。どのような目標を設定していますか。(該当するものすべてに○)

- 1. 時間外労働時間の削減
- 2. 業務の負担軽減・効率化
- 3. 休暇取得率の上昇
- 4. 離職率の低下
- 5. 職員満足度の向上
- 6. その他 ()

問 26. 問 24 で 3「あまり取り組んでいない」又は 4「全く取り組んでいない」と回答した病院にお尋ねします。医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組み始めばよいかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取り組む必要がないため
6. その他 ()
7. 特に理由はない

問 27. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでいるもの、そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。(該当するものすべてに○)

(下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 30 年 3 月)に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。)

I 働き方・休み改善

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|--------|---|----|----|
| 労働時間管理 | 1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している | 1 | 2 |
| | 4. 夜勤負担の軽減(夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、夜眠時間の確保等)を行っている | 1 | 2 |
| | 5. 夜勤専従者への配慮(夜勤の時間・回数の制限等)を行っている | 1 | 2 |
| | 6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している | 1 | 2 |
| | 7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている | 1 | 2 |
| | 8. 勤務間インターバル制度(※10)を導入している | 1 | 2 |
| | 9. 補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)を配置している | 1 | 2 |
| | 10. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している | 1 | 2 |
| | 11. 当直(宿直・日直)明けの勤務者に対する配慮を行っている(連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れぬ等) | 1 | 2 |
| 勤務負担軽減 | 8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。 | | |
| | 9. で「取り組んでいる」と回答した方は、令和元年 6 月 30 日現在の補助職の人数を記入してください。⇒医師事務作業補助者 () 人、看護補助者 () 人 | | |

※10: 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|--------|---|----|----|
| 勤務負担軽減 | 12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している | 1 | 2 |
| | 13. チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化等・タスクシフト)により負担軽減を図っている | 1 | 2 |
| | 14. 電子カルテやデジタル端末等の ICT、IOT 技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 15. 募集・採用を強化するための取組を実施している | 1 | 2 |
| | 16. 地域の医療機関との連携(オープンシステム、外来機能的分担等)を推進している | 1 | 2 |

14. で「取り組んでいる」と回答した方は、導入したものは、導入したものでなかでも効果が高いと考えられる技術を教えてください。

⇒ ()

II 職員の健康支援

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|---------|---|----|----|
| 職員の健康支援 | 17. 職員に健康診断を受診するよう働きかけている | 1 | 2 |
| | 18. 健康診断の事後措置(医療上の措置、就業上の措置、保健指導等)を実施している | 1 | 2 |
| | 19. 職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 20. 職員のメンタルヘルズ教育研修を実施している | 1 | 2 |
| | 21. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルズ対策の取組を行っている | 1 | 2 |
| | 22. 長時間労働者に対する面接指導を実施している | 1 | 2 |
| | 23. 職業感染(結核・インフルエンザ等呼吸器感染、HBV/HCV/HIV の針刺し切創対策、ワクチン等)に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 24. 有害化学物質(抗がん剤、工機用化学剤、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等)のばく露予防に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 25. 作業管理・作業環境対策(腰痛対策や眼精疲労対策等)に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 26. 産業医を選任し、職員に周知している | 1 | 2 |

Ⅲ 働きやすさ確保のための環境整備

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|--|----|----|----|----|
| 27. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 28. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 29. 院内保育所や提携保育所等を整備している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 30. 保育サービス（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 31. 院内や近隣に学童保育を整備している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 32. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 33. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 34. 介護短時間勤務制度を導入している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 35. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 36. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 37. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 38. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 39. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用制度を設けている | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 40. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 41. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 1 | 1 | 2 |

27. で「取り組んでいる」と回答した方は、平成 30 年度に育児休業を取得した男性職員は何人か教えてください。（数字を記入）
 () 人

37. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください。
 (該当するものすべてに○)
 1. 短時間勤務 2. 短日勤務 3. 交代制勤務 4. フレックスタイム制
 5. その他 ()

41. で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組が教えてください。
 ⇒ (具体的に)

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|---------------|--|----|----|----|
| 職対策のメンバークレーム等 | 42. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している | 1 | 1 | 2 |
| | 43. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている | 1 | 1 | 2 |
| 風土・環境整備 | 44. 職員の働く満足度の調査を行っている | 1 | 1 | 2 |
| | 45. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している | 1 | 1 | 2 |
| | 46. 院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している（職員旅行、イベント等） | 1 | 1 | 2 |
| | 47. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している | 1 | 1 | 2 |
| 人材の定着化 | 48. 定期的職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている | 1 | 1 | 2 |
| | 49. 複数主治医制を採用している | 1 | 1 | 2 |

Ⅳ 働きがいの向上

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|----------|--|----|----|----|
| キャリア形成支援 | 50. 施設外の研修への参加を支援している | 1 | 1 | 2 |
| | 51. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている | 1 | 1 | 2 |
| | 52. すべての職員のキャリア形成支援のために、研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている | 1 | 1 | 2 |
| | 53. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から実施されている | 1 | 1 | 2 |
| | 54. 専門資格の取得を支援する制度を設けている | 1 | 1 | 2 |
| 休業後のキャリア | 55. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている | 1 | 1 | 2 |
| | 56. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている | 1 | 1 | 2 |
| | 57. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている | 1 | 1 | 2 |

V. その他

| 取組 | 取組んでいる | 効果が高い |
|---|--------|-------|
| 58. 患者満足度の調査を行っている | 1 | 2 |
| 59. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した制度を設けている | 1 | 2 |
| その他 | | |
| 60. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる | 1 | 2 |
| 61. 医師、看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている | 1 | 2 |
| 62. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている | 1 | 2 |
| 63. その他() | 1 | 2 |

上記に該当するものがなければ、問 29 に進んでください。

問 28. 問 27 で 1 つでも「効果が高い」と回答した病院にお尋ねします。問 27 で回答した勤務環境改善の取組の効果として、どのような経営上のメリットを感じていますか。

(該当するものすべてに○)

- 離職率が低下した
- 人材が確保しやすくなった
- 職員の時間外労働が減少した
- 職員の満足度が向上した
- 職員の休暇取得率が増加した
- アクシデントが減少した/
医療安全が改善・向上した
- 患者の満足度が向上した/患者の声が届きやすい環境になった
- 診療報酬の加算の算定ができるようになった
- 経営指標が改善した
(具体的に：
10. その他
()
11. 経営上のメリットは感じていない

「いきサポ」について伺います

問 29. あなたは、「いきサポ」(※11) をご存じでしたか。(1つに○)

- 知っており、閲覧したことがある ⇒ 問 29 - 1 へ
- 知っているが、閲覧したことはない ⇒ 問 29 - 4 へ
- この調査票で知った(今まで知らなかった) ⇒ 問 30 へ

※11: 「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」(いきサポ) のことです。

問 29-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。(1つに○)

- 非常に参考になる
 - 参考にない
 - あまり参考にならない
 - まったく参考にならない
- ⇒ 問 28-3 へ

問 29-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 「検索ワードランキング」
- 「『参考』にされた』取組事例・提案」
- 「取組事例・提案の紹介」
- 「資料のダウンロード」
- 「FAQ ～よくある問合せ～」
- 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
- 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
- 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
- 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
- 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
- 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
- その他 ()

問 29-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。

[Empty box for question 29-3]

問 29-4. あなたは、「いきサポ」を何で知りましたか。(該当するものすべてに○)

- 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
- 都道府県労働局からの紹介
- 厚生労働省のホームページを見て
- 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
- 同僚・知人などからの口コミ
- その他 ()

問 30. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載することにより、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴院の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか。(1つに○)

1. 紹介してもよい

2. 紹介することを検討したい

3. 紹介したくない

P.15にご連絡先をご記入ください。

勤務環境改善モデル事業への参加のご案内

問 31. この厚生労働省委託事業では、医療機関を対象として勤務環境改善に取り組みモデル事業を実施します。モデル事業の概要は同封のチラシのとおりです。

「医療勤務環境改善マネジメントシステム」を活用して勤務環境改善に取り組んでみたい、あるいはこれまでの取組を充実・強化したいとお考えの医療機関の皆様、この機会にこのモデル事業に参加してみませんか。(1つに○)

- 1. 参加してみたい・参加を検討したい
- 2. 関心はある・話を聞いてみたい
- 3. 関心はない・参加するつもりはない

問 30. 31. にて1又は2を選択された場合は、ご連絡先を教えてください。本事業受託者(株)日本能率協会総合研究所)担当者より、ご連絡させていただきます。なお、いただいた個人情報については、当事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

| |
|---------|
| 医療機関名 |
| ご役職 |
| お名前 |
| お電話番号 |
| メールアドレス |

医療勤務環境改善支援センターについて伺います

問 32. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※12)について、ご存じですか。

(1つに○)

- 1. すでに利用したことがある
- 2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
- 3. 利用したことはないが、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
- 4. 知らない

※12: 「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 33. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。

(1つに○)

- 1. 利用したい
- 2. 利用することを検討したい
- 3. 今のところ利用は考えていない

問 34. 問 33 について、そう考える理由を教えてください。

問 35. 女性活躍や子育てサポート等に関する認定や表彰を受けたり、宣言を行ったりしていますか。もしくは認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいますか。(各項目について該当するもの1つに○)

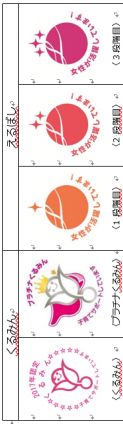
| | 認定・表彰・宣言等を受けている、行っている | 認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいる | 認定・表彰・宣言等に向けた取組は行っていない |
|-----------------|-----------------------|----------------------|------------------------|
| 1. くるみん認定 (※13) | 1 | 2 | 3 |
| 2. えるぼし認定 (※14) | 1 | 2 | 3 |
| 3. イクボス宣言 (※15) | 1 | 2 | 3 |

※13: 「くるみん」とは、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する制度。くるみん認定企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が一定の要件を満たした場合、優良な「子育てサポート企業」として特別認定(プラチナくるみん認定)を受けることができる。

※14: 「えるぼし」とは、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況等が優良な企業を厚生労働大臣が認定する制度。

※15: 「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指す。

【認定マーク】



問 35-1. そのほかに、国や自治体等の公的機関からワークライフバランスに関する認定や表彰を受けたことがあれば、いつごろ、どのような認定や表彰を受けたかを教えてください。

問 36. 平成31年4月から条件をクリアできれば医師・医療従事者の勤務時間短縮に資する一定の設備について、特別償却をすることができます。この取組をご存じでしたか。

(1つに○)

- 1. 知っており利用した
- 2. 知っており、利用を検討している
- 3. 知っているが、利用は検討していない
- 4. はじめて聞いた

問 37. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケート調査の病院ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっていますが、提供不可の場合は右の□にチェックをつけてください。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

有床診療所の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博 (公益財団法人大原記念労働科学研究所)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組み医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業における当委員会では、病院を対象に勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施しています。医療機関の勤務環境等に関する状況を把握し、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、平成 29 年度からすべての有床診療所も対象にアンケート調査を実施しています。本アンケート調査は、今後の医療勤務環境改善の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターにより具体的に活用できるようにする等の目的から、識別番号で診療所を把握させていただきます。

なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

敬具

《記入にあたってのお願い》

1. 院長または貴診療所の勤務環境改善の取組状況等について把握している事務部門の担当者の方が記入してください。
2. 回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
3. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れ、**9月20日(金)までに郵便ポストに投函してください。**

■ 本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 5F
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
担当：笠原・中村
TEL (7/1-ダイヤル)：0120-304-603 (平日 10:00~17:00)
FAX：03-3432-1837

XXXXXXXXXX

※稼働病床が 0 床の場合、回答いただく必要はありません。
※入院を伴わないベッド利用は稼働病床に含みません。

問 1. 開設主体を教えてください。(1 つに○)

1. 国等 (厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等 (都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関 (日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体 (健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他 (公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 2. 稼働病床数と 1 日平均入院患者数 (小数点第 1 位まで) を教えてください。(数字を記入)

〈平成 30 年度〉 稼働病床数 床
1 日平均入院患者数 . 人
〈平成 29 年 6 月〉 稼働病床数 床
1 日平均入院患者数 . 人

・稼働病床数 =

患者を入院させるために準備していた病床数 - 当該期間に 1 度も入院患者を収容しなかった病床数

・1 日平均入院患者数 = 入院患者延数 / 当該期間日数

問 3. 医療機能を教えてください。(1 つに○)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

医療機能は、病床機能報告の考えと同様です。

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等

慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

問 4. 標榜している診療科目を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 内科
- 2. 呼吸器内科
- 3. 循環器内科
- 4. 泌尿器科(腫瘍科)
- 5. 腎臓内科
- 6. 神経内科
- 7. 産婦人科
- 8. 血液内科
- 9. 皮膚科
- 10. アレルギー科
- 11. リウマチ科
- 12. 感染症内科
- 13. 小児科
- 14. 精神科
- 15. 心療内科
- 16. 外科
- 17. 呼吸器外科
- 18. 心臓血管外科
- 19. 乳腺外科
- 20. 気管食道外科
- 21. 消化器外科(腫瘍外科)
- 22. 泌尿器科
- 23. 肛門外科
- 24. 脳神経外科
- 25. 整形外科
- 26. 形成外科
- 27. 美容外科
- 28. 眼科
- 29. 耳鼻いんこう科
- 30. 小児外科
- 31. 産婦人科
- 32. 産科
- 33. 婦人科
- 34. リハビリテーション科
- 35. 放射線科
- 36. 麻酔科
- 37. 病理診断科
- 38. 臨床検査科
- 39. 救急科
- 40. その他

問 5. 令和元年 6 月 30 日現在の職員について伺います。

※以下の質問におけるフルタイム勤務正規職員に院長は含まれません。副院長など肩書きがある場合でも管理職ではない場合は、フルタイム勤務正規職員に含みます。該当者が院長のみの場合は、医師の回答欄は空白のままです。

- ①職員数(正規職員・非正規職員を含む(常勤換算ではありません))
- ②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数(※1)
- ③①のうち、短時間勤務の正規職員数(※2)

を教えてください。(産休・育休・体職など稼働していない職員は除く)(数字を記入)

| | ①職員数(正規職員・非正規職員を含む) | ②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数 | ③①のうち、短時間勤務の正規職員数 |
|-------------|---------------------|---------------------|-------------------|
| 全体 | () 人 | () 人 | () 人 |
| うち、医師数 | () 人 | () 人 | () 人 |
| うち、看護職(※3)数 | () 人 | () 人 | () 人 |

※1:フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間)での勤務をいう(育児等による短時間勤務は除く)。

また、正規職員とは、雇用期間の定めのないものをいう(パート労働等は除く)。

※2:短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3:本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、看護助手を指し、看護助手は含みません。

問 6. 平成 30 年度の 1 年間に夜勤務(三交代の準夜勤・深夜勤・二交代の夜勤)を行わない期間が1か月以上あった看護職員数(※4)を教えてください。(数字を記入)

() 人

※4:正規職員に限定し、パート労働者は除きます。また、産休者も除きます。1ヶ月間に少数回でも夜勤を行っている。あるいは当直・オンコールを行っている看護職員は含みません。また、同一の看護職員が平成30年度の複数の期間に分けて、夜間勤務を行わなかった場合は1名として計算してください。

問 7. 平成 30 年度の 1 年間に正規看護職員の離職率(※5)を教えてください。

(数字を記入)

離職率 . %

※5:離職率=平成30年度退職者数÷平成30年度の平均職員数×100

ただし、平均職員数=(年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数)÷2

以下、フルタイム勤務の正規職員について伺います

※院長は含みません。フルタイム勤務の医師が院長のみである場合は、医師の解答欄は空白のままです。

問 8. 就業規則等で定められたフルタイム勤務の医師及び看護職の週所定労働時間数(変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数)を教えてください。(令和元年 6 月時点)(数字を記入)

- <医師> 週 時間 分
- <看護職> 週 時間 分
- ※<夜勤専従看護職> 週 時間 分

※夜勤専従看護職がいる場合のみ、いない場合は空白で結構です。

問 9. 労働時間の管理方法を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. タイムレコーダー・タイムカード
- 2. ICカード
- 3. 電子カルテなどのログ
- 4. 出勤簿・管理簿
- 5. 自己申告
- 6. その他 ()
- 7. 労働時間を管理していない

問 10. 時間外労働の把握の方法について教えてください。(1つに○)

- 1. 自己申告
- 2. 上司からの命令(事前または事後)で申告
- 3. その他 ()

問 11. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の月平均時間外労働時間数を教えてください。(数字を記入)

- <平成 30 年度> 医師 月平均 時間 分
- 看護職 月平均 時間 分
- <令和元年 6 月> 医師 月平均 時間 分
- 看護職 月平均 時間 分

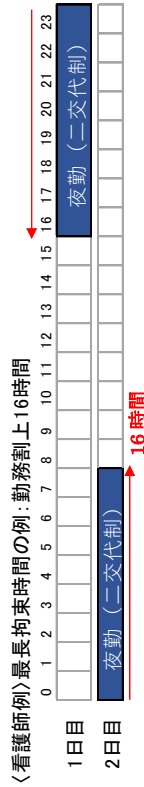
問 12. フルタイム勤務正規職員の時間外労働手当について伺います。何に基づき、時間外労働手当を支払っていますか。(該当するものすべてに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カード・電子カルテ等のログの通りに支払っている (制限なし)
2. 申告時間通りに支払っている (制限なし)
3. 上限時間が決められている職員に対しては、それを上回る時間については支払っていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払っていない
5. 年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
6. 時間外労働手当は支払っていない
7. その他 ()

問 13. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和元年6月の勤務割(※6)における最長連続勤務時間(当直は含まない)とその他の休憩時間を教えてください。(数字を記入)

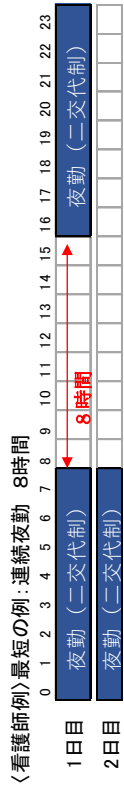
※6: 勤務割・・・シフト表上や勤務計画表上のこと

| | | | |
|-------|-------|----|---|
| 〈医師〉 | 最長 | 時間 | 分 |
| | うち、休憩 | 時間 | 分 |
| 〈看護職〉 | 最長 | 時間 | 分 |
| | うち、休憩 | 時間 | 分 |



問 14. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の令和元年6月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えてください。(数字を記入)

| | | | |
|-------|----|----|---|
| 〈医師〉 | 最短 | 時間 | 分 |
| 〈看護職〉 | 最短 | 時間 | 分 |



問 15. フルタイム勤務正規職員の医師の令和元年6月の当直時の最長連続勤務時間(当直前後の勤務時間を含む)とその他の休憩時間を教えてください。(数字を記入)

| | | | |
|------|-------|----|---|
| 〈医師〉 | 最長 | 時間 | 分 |
| | うち、休憩 | 時間 | 分 |

問 16. 職員の兼業を把握していますか。(1つに○)

1. 把握している
2. 把握していない
3. 兼業を禁止している

休日・休暇について伺います

※院長は含みません。フルタイム勤務の医師が院長のみである場合は、医師の解答欄は空白のままに結構です。

問 17. 平成30年度の年間所定休日数(※7)を教えてください。(数字を記入)

年 年 日

※7: 就業規則に定める職員の所定の休日の合計(年次有給休暇や慶弔休暇は含めない)

問 18. フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の、平成30年度の年次有給休暇取得率を教えてください。(数字を記入)

| | | | | |
|-------|----------------------|---|----------------------|---|
| 〈医師〉 | <input type="text"/> | ・ | <input type="text"/> | % |
| 〈看護職〉 | <input type="text"/> | ・ | <input type="text"/> | % |

※年次有給休暇取得率(%) = 有給休暇取得日数/各人の付与日数(昨年度からの繰り越し分は含めない) × 100

短時間勤務の当直・夜勤について伺います

問 19. 正規職員である短時間勤務の医師も当直(宿直・日直)を行っていますか。(1つに○)

1. 当直(宿直・日直)を行っている
2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
4. 当直(宿直・日直)は行っていない
5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 20. 正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか。(1つに○)

1. 行っている
2. 行っていない
3. 正規職員である短時間勤務の看護職はいない

医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います

問 21. 医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。 (1つに○)

- 1. 重要な課題である } ⇒問 21-1へ
- 2. やや重要な課題である } ⇒問 21-2へ
- 3. あまり重要な課題ではない
- 4. 重要な課題ではない

問 21-1. 問 21 で 1 又は 2 と回答した診療所にお尋ねします。問 21 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 質の高い医療の提供、質の向上のため
- 2. 人材の確保・定着のため
- 3. 職員の業務負担軽減のため
- 4. 職員の健康やメンタルヘルズの維持・向上のため
- 5. 職員のワークライフバランス確保のため
- 6. 当然の義務であるため
- 7. その他 ()

問 21-2. 問 21 で 3 又は 4 と回答した診療所にお尋ねします。問 21 について、そのように認識する理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 現状で問題がないため
- 2. やや問題はあるが、喫緊の課題ではないため
- 3. 既に対策に取り組んでいるため
- 4. その他 ()

問 22. 医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えてください。(1つに○)

- 1. 職種を問わず取り組んでいる
→取組の継続年数を教えてください
1. 1 年未満 2. 1 年～3 年未満 3. 3 年～5 年未満 4. 5 年以上)
- 2. 一部の職種で取り組んでいる(最も早く取り組んだ職種:
→取組の継続年数を教えてください
1. 1 年未満 2. 1 年～3 年未満 3. 3 年～5 年未満 4. 5 年以上)
- 3. あまり取り組んでいない } ⇒問 24
- 4. 全く取り組んでいない

問 23. 問 22 で 1「職種を問わず取り組んでいる」又は 2「一部の職種で取り組んでいる」と回答した病院にお尋ねします。(3 又は 4 と回答した人は問 24 へ) 医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組様様について教えてください。(各項目について該当するもの 1 つに○)

(下記の①～④は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 30 年 3 月)に記載している、マネジメントシステム導入のステップに対応しています。)

| | センターを活用している 取り組んでおり、支援 | センターを活用していない 取り組んでいるが、支援 | 取り組んでいない |
|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------|
| ①勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している | 1 | 2 | 3 |
| ②経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる | 1 | 2 | 3 |
| ③勤務環境の現状の把握・分析を行っている | 1 | 2 | 3 |
| ④勤務環境改善に向けた達成目標を設定している | 1 | 2 | 3 |

本調査における支援センターとは、「医療勤務環境改善支援センター」のことです。

「医療勤務環境改善支援センター」は、平成 26 年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 23-1. 問 23 の項目 4 に取り組んでいる病院にお尋ねします。どのような目標を設定していますか。(該当するものすべてに○)

- 1. 時間外労働時間の削減
- 2. 業務の負担軽減・効率化
- 3. 休暇取得率の上昇
- 4. 離職率の低下
- 5. 職員満足度の向上
- 6. その他 ()

問 24. 問 22 で3「あまり取り組んでいない」又は4「全く取り組んでいない」と回答した病院にお尋ねします。医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組めばよいかかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取組む必要がないため
6. その他 ()
7. 特に理由はない

問 25. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、取り組んでいるもの、そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。(該当するものすべてに○)

(下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 30 年 3 月)に記載している。医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。)

| 取組 | 取り組んでいる組んで | 効果が高い |
|---|------------|-------|
| 1. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している | 1 | 2 |
| 2. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している | 1 | 2 |
| 3. 勤務間インターバル制度(※8)を導入している | 1 | 2 |
| 4. 電子カルテやデジタル端末等のICT、IoT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる | 1 | 2 |
| 5. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している | 1 | 2 |

3. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。
⇒ () 時間
※8：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

4. で「取り組んでいる」と回答した方は、導入したもののなかで最も効果が高いと考えられる技術を教えてください。
()

| 取組 | 取り組んでいる組んで | 効果が高い |
|--|------------|-------|
| 6. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している | 1 | 2 |
| 7. 保育・介護サービス利用料の補助制度(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している | 1 | 2 |
| 8. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている | 1 | 2 |
| 9. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組(男性職員・女性職員ともに対象)を実施している | 1 | 2 |
| 10. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している | 1 | 2 |
| 11. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている | 1 | 2 |
| 12. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している | 1 | 2 |
| 13. 院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している(職員旅行、イベント等) | 1 | 2 |
| 14. 定期的職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている | 1 | 2 |
| 15. 施設外の研修への参加を支援している | 1 | 2 |
| 16. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている | 1 | 2 |

6. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください。
(該当するものすべてに○)

1. 短時間勤務
2. 短日勤務
3. 交代制勤務
4. フレックスタイム制
5. その他 ()

9. で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組が教えてください。
⇒ (具体的に:)

| 取組 | 取り組んで | 効果が高い |
|---|-------|-------|
| 17. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている | 1 | 2 |
| 18. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる | 1 | 2 |
| 19. 医師、看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている | 1 | 2 |
| 20. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている | 1 | 2 |

問 26. 貴診療所における課題として考えられるものは何ですか。(該当するものすべてに○)

- 職員残業時間の改善
- 労務管理
- 職員のモチベーションの維持
- 人材確保 特不足している職種をご記入ください→ ()
- 事業継承
- 経営(収支改善)
- 医療施設や介護施設との連携
- 病床の不足
- 施設の老朽化
- その他 ()

「いきサポ」について伺います

問 27. あなたは、「いきサポ」(※9)をご存じでしたか。(1つに○)

- 知っており、閲覧したことがある ⇒問 27-1へ
- 知っているが、閲覧したことはない ⇒問 27-4へ
- この調査票で知った(今まで知らなかった) ⇒問 28へ

※9:「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポータルWeb」(いきサポ)のことです。

問 27-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。(1つに○)

- 非常に参考になる
- 参考になる
- あまり参考にならない ⇒問 27-3へ
- まったく参考にならない

問 27-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。

(該当するものすべてに○)

- 「検索ワードランキング」
- 「「参考にした」取組事例・提案」
- 「取組事例・提案の紹介」
- 「資料のダウンロード」
- 「FAQ ～よくある問合せ～」
- 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
- 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
- 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
- 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
- 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
- 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
- その他 ()

問 27-3. 「いきサポ」で充実にしてほしい情報があれば教えてください。

[Empty text box for question 27-3]

問 27-4. あなたは、「いきサポ」を何で知りましたか。(該当するものすべてに○)

- 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
- 都道府県労働局からの紹介
- 厚生労働省のホームページを見て
- 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
- 同僚・知人などからの口コミ
- その他 ()

問 28. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載することにより、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴診療所の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか。(1つに○)

- 紹介してもよい
- 紹介することを検討したい
- 紹介したくない

⇨ P.13にご連絡先をご記入ください

勤務環境改善モデル事業への参加のご案内

問 29. この厚生労働省委託事業では、医療機関を対象として勤務環境改善に取り組むモデル事業を実施します。モデル事業の概要は p. 15とおります。
「医療勤務環境改善マネジメントシステム」を活用して勤務環境改善に取り組んでみたい、あるいはこれまでの取組を充実・強化したいとお考えの医療機関の皆様、この機会にこのモデル事業に参加してみませんか。(1つに○)

| |
|---------------------|
| 1. 参加してみたい・参加を検討したい |
| 2. 関心はある・話を聞いてみたい |
| 3. 関心はない・参加するつもりはない |

問28. 29. にて1又は2を選択された場合は、ご連絡先を教えてください。本事業受託者(株)日本能率協会総合研究所)担当者より、ご連絡させていただきます。なお、いただいた個人情報については、当事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

| |
|---------|
| 医療機関名 |
| ご役職 |
| お名前 |
| お電話番号 |
| メールアドレス |

医療勤務環境改善支援センターについて伺います

問 30. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※10)について、ご存じですか。
(1つに○)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはなく、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※10:「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に設置されています。

問 31. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。
(1つに○)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない

問 32. 問 31 について、そう考える理由を教えてください。

| |
|--|
| |
|--|

問 33. 平成 31 年 4 月から条件をクリアできれば医師・医療従事者の勤務時間短縮に資する一定の設備について、特別償却をすることができます。この取組をご存じでしたか。(1つに○)

1. 知っており利用した
2. 知っており、利用を検討している
3. 知っているが、利用は検討していない
4. はじめて聞いた

問 34. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケート調査の病院ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっておりますが、提供不可の場合は右の□にチェックをつけてください。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

| |
|--|
| |
|--|

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

次のページは、モデル事業の案内です。

医療勤務環境改善モデル事業とは？

平成 26 年 10 月に施行された改正医療法では、医療機関の管理者は医療従事者の勤務環境の改善、その他の医療従事者の確保に資する措置を講ずるよう努めなければならないこととされました。国では、各医療機関が勤務環境改善に適切・有効に取り組めるよう、「医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針」を定めるとともに、医療勤務環境改善マネジメントシステム（以下「マネジメントシステム」といいます。）を導入するための手引書を作成して、PDCA サイクルを通じた体系的・継続的な勤務環境改善の取組の促進を図っています。

本調査研究委託事業では、有床診療所においてもこれらの取組が進むよう検討するため、各都道府県の医療勤務環境改善支援センター（以下「支援センター」といいます。）との連携・協力の下、勤務環境改善に取り組んでいきたい、あるいは取組をより充実・強化していきたいとお考えの医療機関に対し、マネジメントシステムを活用した勤務環境改善の取組をお手伝い・支援するモデル事業を実施します。

モデル事業は、ご協力いただける医療機関（全国で 2 か所程度までを想定）に対して、以下により実施し、協力医療機関における取組の成果や課題等を確認するとともに、マネジメントシステムのよりよい活用方法について検証を行います。

実施内容は以下のとおりです。

| | |
|-------------|---|
| 支援方法 | 協力医療機関への訪問及び通信（メール、電話等）により、勤務環境改善やマネジメントシステムに関するアドバイスや情報提供を行います。また、取組の進捗状況や課題等について聴取します。 |
| 支援時期 | 1 協力医療機関につき本調査研究事業の受託者である㈱日本能率協会総合研究所のコンサルタントが 2～3 回程度訪問します。また、メール、電話等による連絡・支援を行うこともあります。その他、適宜、地元の支援センターの支援、相談等も活用します。 ＜スケジュールの目安：訪問時期等の詳細は個別にご相談します。＞ 初回支援・聴取：令和元年 10 月頃 中間支援・聴取：令和元年 12 月頃 最終支援・聴取：令和 2 年 2 月頃 |
| 支援内容 | ・マネジメントシステムの手引書等の必要資料の提供 ・マネジメントシステムの手引書や手引書所取の支援ツールの活用方法等についての相談、アドバイス ・他の医療機関における取組事例の紹介・情報提供 ・支援センター等関係機関との連絡調整等 ※ 本調査研究事業の検討に活用させていただくため、貴診療所の概況等の基礎情報、本モデル事業の実施を通じた勤務環境改善の取組の進捗状況や成果・課題等についてもお伺いさせていただきます。 |

参加をご検討いただける場合は、問 29 にご回答いただくとともに連絡先をご記入ください。
ありがとうございました。

医師の皆様へ

医師の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願いします

厚生労働省委託事業 「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

1. アンケート調査の目的とお願い

平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、平成 27 年度から病院の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し、医師の勤務環境の現状を公表するとともに、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

今年度も、医療従事者の「働き方・休み方」の現状や勤務環境改善の取組への評価等について継続的に把握するためアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の施策の方向的に検討等に活用される大変重要なものです。

回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定しています。なお、アンケート調査は無記名であり、回答者が特定されたり、回答者ごとの回答が個別に明らかにされることは一切ありません。

については、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、令和元年 9 月 20 日（金）までに、「2. 回答方法」に従って回答いただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願いいたします。

2. 回答方法

(1) 途中で WEB ブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。

(2) 回答開始から 1 時間以内にお答えください。

※1 時間以上離脱をされる場合は必ず、画面上部または下部にある「一時保存し終了する」ボタンを押してください。

「途中再開用のパスワード」が発行されます。

※画面上で、希望するメールアドレスにパスワードを送信することも可能です。

(3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、「途中再開用のパスワード」を入力してください。

途中保存したページから再開することができます。

3. アンケートの回答期限： 令和元年 9 月 20 日（金）まで

4. 本件に関する問い合わせ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 5F

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当：中村、笠原 TEL (7) (7) (7) : 0120-304-603 (平日 10:00~17:00)

医師票回答者選定条件

病院：当直・夜勤を行っている、フルタイム勤務の正規職員である医師（病院長、その他の管理職は除きます）

診療所：フルタイム勤務の正規職員である医師（院長その他の管理職職は除きます）

●黄色の着色部分は条件により表示されません。

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1 つに○)

1. 20 代 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代 5. 60 代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(1 つに○)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなたの自身の主な勤務形態を教えてください。(1 つに○)

1. 3交代制（変則含む）※

2. 2交代制（変則含む）※

3. 夜勤専従

4. 夜勤シフトに入っていない

5. 日勤のみ

6. それ以外（ ）

7. わからない

※：交代制勤務には 24 時間を 2 つのシフトに分ける「2交代制」や「3交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ（夜勤時間 9～10 時間の変則 3交代制、夜勤時間 13～16 時間の変則 2交代制など）がある

問 4. あなたの現職種におけるキャリア（通算経験年数）を教えてください。(1 つに○)

た場合は、その期間を含めず、回答してください。(1 つに○)

1. 1 年未満 3. 3 年未満 5. 10 年未満 7. 20 年以上

2. 2 年未満 4. 5 年未満 6. 20 年未満

問 5. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、

その期間を含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答してください。(数字を記入)

() 年

問 6. あなたが主に専門としている診療科（最も時間を費やしている診療科）を教えてください。（1つに○）

- | | | | | |
|--------------|------------|---------------|----------------|-----------|
| 1. 内科 | 10. アレルギー科 | 19. 乳腺外科 | 28. 眼科 | 37. 病理診断科 |
| 2. 呼吸器内科 | 11. リウマチ科 | 20. 気管食道外科 | 29. 耳鼻いんこう科 | 38. 臨床検査科 |
| 3. 循環器内科 | 12. 感染症内科 | 21. 消化器科（胃腸科） | 30. 小児外科 | 39. 救急科 |
| 4. 泌尿器科（腎臓科） | 13. 小児科 | 22. 泌尿器科 | 31. 産婦人科 | 40. 臨床研修医 |
| 5. 腎臓内科 | 14. 精神科 | 23. 肛門外科 | 32. 産科 | 41. 全科 |
| 6. 神経内科 | 15. 心療内科 | 24. 脳神経外科 | 33. 婦人科 | 42. その他 |
| 7. 腫瘍科（がん科） | 16. 外科 | 25. 整形外科 | 34. リハビリテーション科 | |
| 8. 血液内科 | 17. 呼吸器外科 | 26. 形成外科 | 35. 放射線科 | |
| 9. 皮膚科 | 18. 心臓血管外科 | 27. 美容外科 | 36. 麻酔科 | |

問 7. 貴医療機関の開設主体を教えてください。（1つに○）

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他（国の機関））
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 8. あなたが主に勤務する病床機能を教えてください。（1つに○）

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
 急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
 回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等
 慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

＜労働時間について伺います＞

問 9. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。（1つに○）

1. 知っている
2. 知らない

問 10. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。（1つに○）

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他（ ）
7. 労働時間を管理していない

問 11. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数、残業中の休憩時間など労働していない時間は除く）を教えてください。（1つに○）

1. 45時間以下
2. 45時間超～80時間以下
3. 80時間超～100時間以下
4. 100時間超～

問 12. あなたの平成30年1年間のおおよその時間外労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数、残業中の休憩時間など労働していない時間は除く）を教えてください。（1つに○）

1. 360時間以下
2. 360時間超～960時間以下
3. 960時間超～1860時間以下
4. 1860時間超～

問 13. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。（全て申告している場合は0を記入）（数字を記入）

おおよそ（ ）時間を申告していない

問 14. あなたの令和元年6月の1か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。（該当するものすべてに○）

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他（具体的に： ）

問 15. あなたは、**普段**、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(1つに○)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 15-2へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 15-1へ

問 15-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。

(該当するものすべてに○)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のごだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他 ()

390

→10を回答した場合は、何時間残業が含まれているかご存じですか。

知っている () 時間・知らない

問 15-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。

(1つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテのログ等の記録のとおりを支払われている (制限なし)
2. 自己申告した時間どおりに支払われている (制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働手当は支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

＜休日・休暇について伺います＞

問 16. あなたの**令和元年6月**の①所定休日数(※)及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。 (数字を記入)

※：所定休日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日数 1. () 日 2. わからない
- ②実際に業務を休んだ日数 () 日

問 17. あなたの**平成30年度**の①年次有給休暇の付与日数(※)と②有給取得日数を教えてください。(数字を記入)

※：年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
- ②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

【一般の労働者の場合の例】

| | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 継続勤務年数 | 0.5 | 1.5 | 2.5 | 3.5 | 4.5 | 5.5 | 6.5以上 |
| 付与日数 | 10 | 11 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 |

問 18. あなたは主とする勤務先以外で定期的にアルバイトを行っていますか。(1つに○)

1. 行っている
2. 行っていない

→1を回答した場合は、1か月あたりおおよそ何日、合計何時間行っていますか。

() 日 () 時間・わからない

→1を回答した場合、アルバイトを行っていることを主契約の医療機関等に届け出ていますか。(1つに○)

1. アルバイト先、時間ともに届け出ている
2. アルバイト先のみ届け出ている
3. 時間のみ届け出ている
4. 届け出ていない
5. 主契約先がわからない

＜当直・夜勤等について伺います＞

＜医師対象＞

問 19. **令和元年6月**の当直 (①宿直・②日直)・③夜勤 (※) (交代制勤務の下で夜間に行つた勤務)・④オンコールの当番回数を教えてください。①②③④それぞれについて、該当がない場合は「0 (ゼロ)」と回答してください。(数字を記入)

| | | | |
|------|---|--------|---|
| ① 宿直 | 回 | ③夜勤 | 回 |
| ② 日直 | 回 | ④オンコール | 回 |

アラート文：
6月の実施した回数です。30回を超えることはありません。

※：夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直 (電話の応対や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと) とは異なる。

(問 19で①に1以上の数値を入力した場合にのみ問 19-1~2を表示)

問 19で令和元年6月に宿直を行った方に伺います。

問 19-1. 貴院で決められている①宿直1回あたりの平均拘束時間と②あなたの令和元年6月の宿直1回あたりの平均実労働時間数 (患者対応など通常勤務時と同様の業務を行う

た時間数) を教えてください。(数字を記入)

- ①貴院の宿直平均拘束時間数 () 時間 () 分
②宿直平均実労働時間数 () 時間 () 分

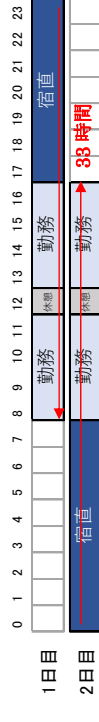
問 19-2. 宿直明けの勤務について、どのような勤務割になつていますか。(1つに○)

1. 通常勤務で、業務内容の軽減はない
2. 通常勤務であるが、業務内容は軽減される
3. 短時間勤務で、業務内容の軽減はない
4. 短時間勤務で、業務内容も軽減される
5. 勤務なし (休み)
6. その他 ()
7. 日によって異なる (具体的に：)
8. わからない

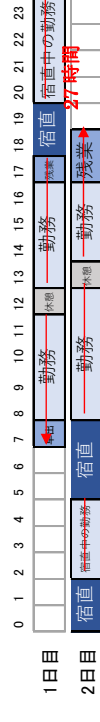
問 20. あなたの**令和元年6月**のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間 (職場に最も長くいた時間) について伺います。①当直 (宿直・日直) 時間を含む、勤務割上 (※) の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数 (休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む) を教えてください。(数字を記入)

- ①当直 (宿直・日直) 時間を含む最長拘束時間 約 () 時間 () 分
②①の実際の労働時間 (休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む) 約 () 時間 () 分

①最長拘束時間の例: 33時間



②①における実際の労働時間の例: 27時間
(勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間)

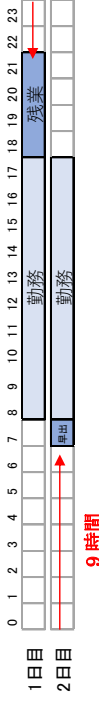


※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 21. あなたの**令和元年6月**のある勤務日の勤務 (時間外労働を含む。) の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①令和元年6月の勤務割上の最長時間と②実際の最長時間を教えてください。(数字を記入)

- ①勤務割上の最長時間 約 () 時間 () 分
②実際の最長時間 約 () 時間 () 分

②実際の勤務の終了から開始までの最長時間の例: 9時間



問 21-1. あなたは、問 21 で回答したような短い間隔になることが、月どのくらいありますか。(1つに○)

1. よくある
2. ときどきある
3. めったにない

＜勤務環境等について伺います＞

問 22. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(1つに○)

1. 睡眠は十分にどれていた
2. 睡眠は比較的どれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりどれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 23. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(1つに○)

1. 減らしたい
2. どちらでもよい
3. 減らしたくない
 - 3 を回答した場合、"減らしたくない"理由を教えてください
(最もあてはまるもの1つに○)
 1. 研鑽をつみたい
 2. 生活費を確保したい
 3. 他の人より早く帰りたい
 4. 患者の状態を確認しないと気がすまない
 5. 緊急時に対応したい
 6. その他 ()

問 24. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つに○)

1. 健康である
2. どちらかという健康である
3. どちらともいえない
4. どちらかという健康ではない
5. 健康でない

問 25. あなたは平成 30 年度に健康診断を受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった
 - 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください ()

問 26. あなたは平成 30 年度にストレスチェックを受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった
 - 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください ()

問 27. あなたは平成 30 年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(1つに○)

1. 受けた
2. 受けなかった

問 28. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてに○)

I 働き方・休み改善

| 取組 | 取り組んでいる組んで | 効果が高い |
|--------|--|---|
| 労働時間管理 | 1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる 2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる 3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している 4. 夜勤負担の軽減 (夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等) を行っている 5. 夜勤専従者への配慮 (夜勤の時間・回数の制限等) を行っている 6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している 7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている 8. 勤務間インターバル制度(※)を導入している 9. 補助職 (医師事務作業補助者、看護補助者等) を配置している | 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 |
| 勤務負担軽減 | 10. 正職員について多様な勤務形態 (短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など) を活用している 11. 当直 (宿直・日直) 明けの勤務者に対する配慮を行っている (連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等) | 1 2 1 2 |

8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。
⇒ () 時間

※：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

| | | |
|---|---|---|
| 12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している | 1 | 2 |
| 13. チーム医療や多職種連携 (業務分担・連携の強化等・タスクシフト※) により負担軽減を図っている | 1 | 2 |
| 14. 電子カルテやタブレット端末等のICT、IoT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる | 1 | 2 |
| 15. タスクシェア※※による負担軽減を図っている | 1 | 2 |
| 16. 地域の医療機関との連携 (オープンシステム、外来機能の分担等) を推進している | 1 | 2 |

※：例) 医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった
※※：例) 複数主治医制を導入した

13. どのようなタスクシフトを行っていますか。()

15. どのようなタスクシェアを行っていますか。()

問 29. 働きやすさ確保のための環境整備 (1つに○)

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかというと不満
5. 不満

II 職員の健康支援

| 取組 | 取組 | 取 り 組 ん で | 効 果 が 高 い |
|---------|--|-----------------------|-----------------------|
| 職員の健康支援 | 17. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している | 1 | 2 |
| | 18. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 19. 職員のメンタルヘルズ教育研修を実施している | 1 | 2 |
| | 20. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルズ対策の取組を行っている | 1 | 2 |
| | 21. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 22. 産業医を選任し、職員に周知している | 1 | 2 |

問 30. 健康支援に関する満足度 (1つに○)

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかというと不満
5. 不満

III 働きやすさ確保のための環境整備

| 取組 | 取 り 組 ん で | 効 果 が 高 い |
|--|-----------------------|-----------------------|
| 23. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている | 1 | 2 |
| 24. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 2 |
| 25. 院内保育所や提携保育所等を整備している | 1 | 2 |
| 26. 保育サービ（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している | 1 | 2 |
| 27. 院内や近隣に学童保育を整備している | 1 | 2 |
| 28. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている | 1 | 2 |
| 29. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している | 1 | 2 |
| 30. 介護短時間勤務制度を導入している | 1 | 2 |
| 31. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 2 |
| 32. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 |
| 33. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している | 1 | 2 |
| 34. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 |
| 35. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている | 1 | 2 |
| 36. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている | 1 | 2 |
| 37. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 |

仕事と子育て・介護の両立支援

33. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください（該当するものすべてに○）

1. 短時間勤務
2. 短日勤務
3. 交代制勤務
4. フレックスタイム制
5. その他（ ）

37. で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組か教えてください。（具体的に）

IV 働きがいの向上

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|---|----|----|----|
| 45. 施設外の研修への参加を支援している | 1 | 2 | 2 |
| 46. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている | 1 | 2 | 2 |
| 47. すべての職員のキャリア形成支援のために研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている | 1 | 2 | 2 |
| 48. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている | 1 | 2 | 2 |
| 49. 専門資格の取得を支援する制度を設けている | 1 | 2 | 2 |
| 50. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている | 1 | 2 | 2 |
| 51. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている | 1 | 2 | 2 |
| 52. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている | 1 | 2 | 2 |

問 32. 仕事の充実感・達成感に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかというと不満
5. 不満

問 33. 働き甲斐全般に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかというと不満
5. 不満

| | | |
|--|---|---|
| 38. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している | 1 | 2 |
| 39. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている | 1 | 2 |
| 40. 職員の働く満足度の調査を行っている | 1 | 2 |
| 41. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している | 1 | 2 |
| 42. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している | 1 | 2 |
| 43. 定期的に職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている | 1 | 2 |
| 44. 複数主治医制を採用している | 1 | 2 |

問 31. 働きやすさに関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかというと不満
5. 不満

V. その他

| 取組 | 取組 している | 効果 が高い |
|---|------------|-----------|
| 53. 患者満足度の調査を行っている | 1 | 2 |
| 54. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている | 1 | 2 |
| 55. 定年退職者の再雇用積極的に取り組んでいる | 1 | 2 |
| 56. 医師や看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている | 1 | 2 |
| 57. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている | 1 | 2 |
| 58. その他 () | 1 | 2 |

問 34. 勤務環境全般に関する満足度 (1つに○)

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえれば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。
ご協力ありがとうございました。

時間外労働時間が月80時間を超える医師の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、病院・有床診療所の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し(※)、医師の勤務環境の現状を公表するとともに、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

本アンケート調査は、今後の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。

回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定しています。

なお、アンケート調査は無記名であり、回答者が特定されたり、回答者ごとの回答が個別に明らかになれることは一切ありません。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

敬具

※過去のアンケート調査結果は、「いきいき働く医療機関サポートWeb（いきがポ）」でご覧いただけます。

《記入にあたってのお願い》

1. **令和元年6月の時間外労働が80時間を超えたフルタイム勤務の正規職員の医師が記入してください。**
月の時間外労働時間が80時間未満の医師はWEB調査にご協力ください(調査票が異なります)。
2. **回答にあたっては、該当する番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。**
3. **ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、9月20日(金)までに郵便ポストに投函してください。**

■本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5F
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
担当：笠原・中村
TEL (フリーダイヤル)：0120-304-603 (平日10:00~17:00)
FAX：03-3432-1837

XXXXXXXXXX

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなたの臨床医としてのキャリア(通算経年数)を教えてください。(1つに○) **た場合は、その期間を含めず、回答してください。**

1. 1年未満 3. 3年未満 5. 10年未満 7. 20年以上
2. 2年未満 4. 5年未満 6. 20年未満

問 4. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、退職をした場合は、その期間を含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数を含めず回答してください。1年未満は1年としてください。(数字を記入)

() 年

問 5. あなたが主に専門としている診療科(最も時間を費やしている診療科)を教えてください。(1つに○)

- | | | | | |
|--------------|------------|---------------|----------------|-----------|
| 1. 内科 | 10. アレルギ科 | 19. 乳腺外科 | 28. 眼科 | 37. 病理診断科 |
| 2. 呼吸器内科 | 11. リウマチ科 | 20. 気管食道外科 | 29. 耳鼻いんこう科 | 38. 臨床検査科 |
| 3. 循環器内科 | 12. 感染症内科 | 21. 泌尿器科(腎臓科) | 30. 小児外科 | 39. 救急科 |
| 4. 泌尿器科(腎臓科) | 13. 小児科 | 22. 泌尿器科 | 31. 産婦人科 | 40. 臨床研修医 |
| 5. 腎臓内科 | 14. 精神科 | 23. 肛門外科 | 32. 産科 | 41. 全科 |
| 6. 神経内科 | 15. 心療内科 | 24. 脳神経外科 | 33. 婦人科 | 42. その他 |
| 7. 脳神経科(脳科) | 16. 外科 | 25. 整形外科 | 34. リハビリテーション科 | |
| 8. 血液内科 | 17. 呼吸器外科 | 26. 形成外科 | 35. 放射線科 | |
| 9. 皮膚科 | 18. 心臓血管外科 | 27. 美容外科 | 36. 麻酔科 | |

問 6. 貴医療機関の開設主体を教えてください。(1つに○)

1. 国等(厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等(都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他(公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 7. あなたが主に勤務する病床機能を教えてください。(1つに○)

- 1. 高度急性期
- 2. 急性期
- 3. 回復期
- 4. 慢性期

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
 急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
 回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等
 慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

<労働時間について伺います>

問 8. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。(1つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問 9. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。(1つに○)

- 1. タイムレコーダー・タイムカード
- 2. ICカード
- 3. 電子カルテなどのログ
- 4. 出勤簿・管理簿
- 5. 自己申告
- 6. その他 ()
- 7. 労働時間を管理していない

問 10. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(1つに○)

- 1. 80 時間超～100 時間以下
- 2. 100 時間超～

問 11. あなたの平成 30 年 1 年間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(1つに○)

- 1. 360 時間以下
- 2. 360 時間超～960 時間以下
- 3. 960 時間超～1860 時間以下
- 4. 1860 時間超～

問 12. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。(全て申告している場合は0を記入)(数字を記入)

おおよそ () 時間を申告していません

問 13. あなたの令和元年6月の1か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。

(該当するものすべてに○)

- 1. 緊急対応
- 2. 手術や外来対応等の延長
- 3. 記録・報告書作成や書類の整理
- 4. 会議・勉強会・研修会等への参加
- 5. 他職種・他機関との連絡調整
- 6. 勤務開始前の準備
- 7. その他 (具体的に:)

問 14. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(1つに○)

- 1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 14-3へ
- 2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 14-1へ

問 14-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

- 1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
- 2. 残業と認められない業務だから
- 3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
- 4. 自分の都合や、自分のごだわりのために残業をしたから
- 5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
- 6. 申告するのが面倒だから
- 7. 申告するのを忘れてしまうから
- 8. 申告の方法を知らないから
- 9. 時間外労働時間が短かったから
- 10. 年俸制だから
- 11. その他 ()

問 14-1 で「10. 年俸制だから」を選択した方にお尋ねします。

問 14-2. 何時間の時間外労働が含まれているかご存じですか。(1つに○)

- 1. 知っている → () 時間
- 2. 知らない

問 14-3. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。

(1つに○)

- 1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテ等のログの記録のとおりを支払われている (制限なし)
- 2. 自己申告した時間どおりに支払われている (制限なし)
- 3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
- 4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
- 5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
- 6. 時間外労働手当は支払われていない
- 7. その他 ()
- 8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 15. あなたの令和元年 6 月の①所定休日数 (※1) 及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を記入)

※1: 所定休日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日数 1. () 日 2. わからない
- ②実際に業務を休んだ日数 () 日

問 16. あなたの平成 30 年度の①年次有給休暇の付与日数 (※2) と②有給取得日数を教えてください。(数字を記入)

※2: 年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
- ②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

【一般の労働者の場合の例】

| | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 継続勤務年数 | 0.5 | 1.5 | 2.5 | 3.5 | 4.5 | 5.5 | 6.5以上 |
| 付与日数 | 10 | 11 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 |

<宿当直について伺います>

問 17. 令和元年 6 月の当直 (①宿直・②日直)・③夜勤 (※3) (交代制勤務の下で夜間に行つた勤務)・④オンコールの当番回数を教えてください。①②③④それぞれについて、該当がない場合には「0 (ゼロ)」と回答してください。(数字を記入)

※6 月の実施回数のため、回数が 30 を超えることはありません。

| | | | |
|------|---|--------|---|
| ① 宿直 | 回 | ③夜勤 | 回 |
| ② 日直 | 回 | ④オンコール | 回 |

※3: 夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直 (電話の応対や巡回、非常事態に備えるの待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと) とは異なる。

問 17 で令和元年 6 月に宿直を行った方にお尋ねします。

問 17-1. 貴院で決められている①宿直 1 回あたりの平均拘束時間数と②令和元年 6 月の宿直 1 回あたりの平均実労働時間数 (患者対応など通常勤務時と同様の業務を行った時間数) を教えてください。(数字を記入)

- ①貴院の宿直平均拘束時間数 () 時間 () 分
- ②宿直平均実労働時間数 () 時間 () 分

問 17-2. 宿直明けの勤務について、どのような勤務割になっていますか。(1つに○)

- 1. 通常勤務で、業務内容の軽減はない
- 2. 通常勤務であるが、業務内容は軽減される
- 3. 短時間勤務で、業務内容の軽減はない
- 4. 短時間勤務で、業務内容も軽減される
- 5. 勤務なし (休み)
- 6. その他 ()
- 7. 日によって異なる (具体的に:)
- 8. わからない

問 18. 最長施設滞在時間を教えてください。(数字を記入)

() 時間

<勤務環境等について伺います>

問 19. あなたのこの 1 か月間の睡眠の状況について教えてください。(1つに○)

| | | | | |
|---------|----------|-----------|-------------|--------|
| 十分とれていた | 比較的とれていた | どちらともいえない | あまりとれていなかった | 不足していた |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 20. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(1つに○)

- 1. 減らしたい
 - 2. どちらでもよい
 - 3. 減らしたくない
- 減らしたくない理由を教えてください。(最もあてはまるもの1つに○)
- 1. 研鑽をつみたい
 - 2. 生活費を確保したい
 - 3. 他の人より早く帰りたい
 - 4. 患者の状態を確認しないと気がすまない
 - 5. 緊急時に対応したい
 - 6. その他 ()

問 21. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つに○)

- 1. 健康である
- 2. どちらかという健康ではない
- 3. どちらかという健康ではない
- 4. 健康でない

問 22. あなたは平成 30 年度に健康診断を受診しましたか。(1つに○)

- 1. 受診した
- 2. 受診しなかった → (理由:)

問 23. あなたは平成 30 年度にストレッチャックを受診しましたか。(1つに○)

- 1. 受診した
- 2. 受診しなかった → (理由:)

問 24. あなたは平成 30 年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(1つに○)

- 1. 受けた
- 2. 受けなかった

問 25. あなたは現在の勤務環境で以下の点についての程度満足していますか。あなたの満足度について最も近いものを教えてください。(各項目について該当するもの1つに○)

| 項目 | 満足 いうと満足 | どちらか という満足 | どちらとも いえない | どちらかと いうと不満 | 不満 |
|----------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----|
| 勤務環境全体全般に関して | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 働き方・休み方全般に関して | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 職員の健康支援に関して | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 働きやすさ全般に関して | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 働きがい全般に関して | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 仕事の充実感・達成感に関して | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 26. 以下にあげる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、①貴医療機関で取り組んでおり、②そのうちあなたが改善の効果を感している項目を教えてください。(各項目について該当するものに○)

| 取組 | 取 り 組 ん で | 効 果 が 高 い |
|---|-----------------------|-----------------------|
| 1. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している | 1 | 2 |
| 2. 勤務間インターバル制度(※4)を導入している | 1 | 2 |
| 3. チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化等・タスクシフト※5)により負担軽減を図っている | 1 | 2 |
| 4. タスクシェア(※6)による負担軽減を図っている | 1 | 2 |
| 5. 地域の医療機関との連携(オープンシステム、外来機能の分担等)を推進している | 1 | 2 |
| 6. 健康診断の事後措置(医療上の措置、就業上の措置、保健指導等)を実施している | 1 | 2 |
| 7. 専門資格の取得を支援する制度を設けている | 1 | 2 |
| 8. 診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている | 1 | 2 |

※4: 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度
 ※5: 例) 医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった
 ※6: 例) 複数主治医制を導入した

2. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。

⇒ () 時間

3. どのようなタスクシフトを行っていただけますか。

()

4. どのようなタスクシェアを行っていただけますか。

()

問 27. 労働時間削減のためにどのようにすればよいかアイデアがあれば教えてください。また、これまでに取り組んでよかった事例があれば教えてください。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

看護職の皆様へ

看護職の勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会委員長 酒井 一博(公益財団法人大原記念労働科学研究所)

1. アンケート調査の目的とお願い

平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、平成 27 年度から病院の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し、看護職の勤務環境の実態を公表するとともに、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

今年度も、医療従事者の「働き方・休み方」の現状や勤務環境改善の取組への評価等について継続的に把握するためアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。

回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定しています。なお、アンケート調査は無記名であり、回答者が特定されたり、回答者ごとの回答が個別に明らかにされることは一切ありません。

回答内容については、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、令和元年 9 月 20 日(金)までに、「2. 回答方法」に従って回答いただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

2. 回答方法

(1) 途中で WEB ブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。

(2) 回答開始から 1 時間以内にお答えください。

※1 時間以上離席される場合は必ず、画面上部または下部にある「一時保存し終了する」ボタンを押してください。

※途中再開用のパスワードが発行されます。

※画面上で、希望するメールアドレスにパスワードを送信することも可能です。

(3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、「途中再開用のパスワード」を入力してください。

途中保存したページから再開することができます。

3. アンケートの回答期限: 令和元年 9 月 20 日(金)まで

4. 本件に関する問い合わせ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 5F

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当: 中村、笠原 TEL(フリーダイヤル): 0120-304-603(平日 10:00~17:00)

回答者選定条件

夜勤を行っている、フルタイム勤務の正規職員である看護職(看護部長、看護師長などの管理職は除きます。)

●黄色の着色部分は条件により表示されます。

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1 つに○)

1. 20 代 2. 30 代 3. 40 代 4. 50 代 5. 60 代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(1 つに○)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなた自身の主な勤務形態を教えてください。(1 つに○)

1. 3交代制(変則含む) ※

2. 2交代制(変則含む) ※

3. 夜勤専従

4. 夜勤シフトに入っていない

5. 日勤のみ

6. それ以外 ()

7. わからない

※: 交代制勤務には 24 時間を 2 つのシフトに分ける「2交代制」や「3交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ(夜勤時間 9~10 時間の変則 3交代制、夜勤時間 13~16 時間の変則 2交代制など)がある。

問 4. あなたの現職種におけるキャリア(通算経年数)を教えてください。(1 つに○)

1. 1 年未満 3. 3 年未満 5. 10 年未満 7. 20 年以上

2. 2 年未満 4. 5 年未満 6. 20 年未満

問 5. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、退職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めずに回答してください。(数字を記入)

() 年

問 6. あなたが主に専門としてしている診療科（最も時間を費やしている診療科）を教えてください。（1つに○）

- | | | | | |
|--------------|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 1. 内科 | 9. 皮膚科 | 17. 呼吸器外科 | 25. 整形外科 | 33. 婦人科 |
| 2. 呼吸器内科 | 10. アレルギー科 | 18. 心臓血管外科 | 26. 形成外科 | 34. リハビリテーション科 |
| 3. 循環器内科 | 11. リウマチ科 | 19. 乳癌外科 | 27. 美容外科 | 35. 放射線科 |
| 4. 泌尿器科(腫瘍科) | 12. 感染症内科 | 20. 気管食道外科 | 28. 眼科 | 36. 麻酔科 |
| 5. 腎臓内科 | 13. 小児科 | 21. 消化器外科(胃腸外科) | 29. 耳鼻いんこう科 | 37. 病理診断科 |
| 6. 神経内科 | 14. 精神科 | 22. 泌尿器科 | 30. 小児外科 | 38. 臨床検査科 |
| 7. 腫瘍科(代謝科) | 15. 心療内科 | 23. 肛門外科 | 31. 産婦人科 | 39. 救急科 |
| 8. 血液内科 | 16. 外科 | 24. 脳神経外科 | 32. 産科 | 40. その他 |

問 7. 貴医療機関の開設主体を教えてください。（1つに○）

1. 国等（厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関)）
2. 地方公共団体等（都道府県、市町村、地方独立行政法人）
3. 公的医療機関（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）
4. 社会保険関係団体（健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）
5. 医療法人
6. 個人
7. その他（公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人）

問 8. あなたが主に勤務する病床機能を教えてください。（1つに○）

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
 急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
 回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能等
 慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

<労働時間について伺います>

問 9. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。（1つに○）

1. 知っている
2. 知らない

問 10. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。（1つに○）

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他（ ）
7. 労働時間を管理していない

問 11. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く）を教えてください。（1つに○）

1. 45時間以下
2. 45時間超～80時間以下
3. 80時間超～100時間以下
4. 100時間超～

問 12. あなたの平成30年1年間のおおよその時間外労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く）を教えてください。（1つに○）

1. 360時間以下
2. 360時間超～960時間以下
3. 960時間超～1860時間以下
4. 1860時間超～

問 13. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。（全て申告している場合は0を記入）（数字を記入）

おおよそ（ ）時間を申告していない

問 14. あなたの令和元年6月の1か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。（該当するものすべてに○）

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他（具体的に： ）

問 15. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(1つに○)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 15-2 へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 15-1 へ

問 15-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他 ()

→10 を回答した場合は、何時間残業が含まれているかご存じですか。

知っている () 時間・知らない

問 15-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。

(1つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテのログ等の記録のとおりを支払われている (制限なし)
2. 自己申告した時間どおりを支払われている (制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働手当は支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 16. あなたの令和元年 6 月の①所定休日数 (※) 及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。 (数字を記入)

※: 所定休日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ① 所定休日数 1. () 日 2. わからない
- ② 実際に業務を休んだ日数 () 日

問 17. あなたの平成 30 年度の①年次有給休暇の付与日数 (※) と②有給取得日数を教えてください。 (数字を記入)

※: 年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ① あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
- ② あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

【一般の労働者の場合の例】

| | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 継続勤務年数 | 0.5 | 1.5 | 2.5 | 3.5 | 4.5 | 5.5 | 6.5以上 |
| 付与日数 | 10 | 11 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 |

問 18. あなたは主とする勤務先以外で定期的にアルバイトを行っていますか。(1つに○)

1. 行っている
2. 行っていない

→1 を回答した場合は、1か月あたりおおよそ何日、合計何時間行っていますか。

() 日 () 時間・わからない

→1 を回答した場合、アルバイトを行っていることを主契約の医療機関等に届け出ていますか。(1つに○)

1. アルバイト先、時間ともに届け出ている
2. アルバイト先のみ届け出ている
3. 時間のみ届け出ている
4. 届け出ていない
5. 主契約先がわからない

＜当直・夜勤等について伺います＞

＜看護職のみ対象＞

問 19. 令和元年 6 月の①夜勤（※）・②オンコールの当番日数を教えてください。なお、令和元年 6 月の途中で夜勤専従期間が開始または終了した方は、夜勤専従期間以外の回数を入力して下さい。（夜勤、オンコールの当番がなかった場合は 0 を記入）（数字を記入）

| | |
|---------|---|
| ① 夜勤 | 回 |
| ② オンコール | 回 |

アラート文：
6 月の実施した回数です。30 回を超えることはありません。

※：夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直（電話の応対や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと）とは異なる。

（問 19 で①に 1 以上の数値を入力した場合にのみ問 19-1 を表示）

問 19-1. あなたの令和元年 6 月の夜勤勤務について伺います。①令和元年 6 月の 1 か月間のおおよその総夜勤時間数、及び、問 3 で回答した主な勤務形態における夜勤の②勤務割上（※）の 1 回あたりの平均夜勤時間数と③実際の 1 回あたりの平均夜勤時間数（夜勤を行った際の時間外労働時間を含む。）を教えてください。（数字で記入）

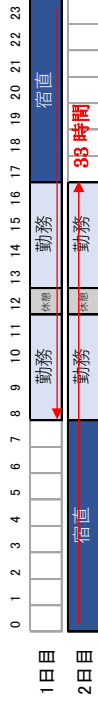
- ① 1 か月間のおおよその総夜勤時間数 () 時間 () 分
 ② 勤務割上 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分
 うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分
 ③ 実際の 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分
 うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分

※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 20. あなたの令和元年 6 月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間（職場に最も長くいた時間）について伺います。①当直（宿直・日直）時間を含む、勤務割上（※）の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）を教えてください。（数字を記入）

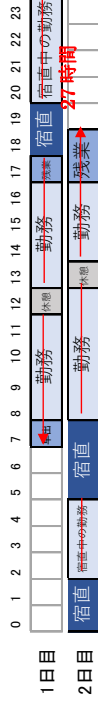
- ① 当直（宿直・日直）時間を含む最長拘束時間 約 () 時間 () 分
 ② ①の実際の労働時間（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）
 約 () 時間 () 分

①最長拘束時間の例：33時間



②①における実際の労働時間の例：27時間

（勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間）

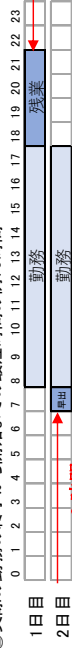


※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 21. あなたの令和元年 6 月のある勤務日の勤務（時間外労働を含む。）の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①令和元年 6 月の勤務割上の最短時間と②実際の最短時間を教えてください。（数字を記入）

- ① 勤務割上の最短時間 約 () 時間 () 分
 ② 実際の最短時間 約 () 時間 () 分

②実際の勤務終了から開始までの最短時間の例：9時間



問 21-1. あなたは、問 21 で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか。（1つに○）

- よくある
- ときどきある
- めったにない

＜勤務環境等について伺います＞

問 22. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(1つに○)

1. 睡眠は十分にどれていた
2. 睡眠は比較的どれていた
3. どちらともいえない
4. 睡眠はあまりとれていなかった
5. 睡眠は不足していた

問 23. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(1つに○)

1. 減らしたい
2. どちらでもよい
3. 減らしたくない
 - 3 を回答した場合、"減らしたくない"理由を教えてください
(最もあてはまるもの1つに○)
 1. 研鑽をつみたい
 2. 生活費を確保したい
 3. 他の人より早く帰りたい
 4. 患者の状態を確認しないと気がすまない
 5. 緊急時に対応したい
 6. その他 ()

問 24. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つに○)

1. 健康である
2. どちらかという和健康である
3. どちらともいえない
4. どちらかという和健康ではない
5. 健康でない

問 25. あなたは平成 30 年度に健康診断を受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった
 - 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください ()

問 26. あなたは平成 30 年度にストレスチェックを受診しましたか。(1つに○)

1. 受診した
2. 受診しなかった
 - 2 を回答した場合、"受診しなかった"理由を教えてください ()

問 27. あなたは平成 30 年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(1つに○)

1. 受けた
2. 受けなかった

問 28. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてに○)

I 働き方・休み改善

| 取組 | 取り組んでいる組んで | 効果が高い |
|--------|---|--|
| 労働時間管理 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる 2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる 3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している 4. 夜勤負担の軽減 (夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等) を行っている 5. 夜勤専従者への配慮 (夜勤の時間・回数の制限等) を行っている 6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している 7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている 8. 勤務間インターバル制度(※)を導入している 9. 補助職 (医師事務作業補助者、看護補助者等) を配置している 10. 正職員について多様な勤務形態 (短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など) を活用している 11. 当直 (宿直・日直) 明けの勤務者に対する配慮を行っている (連続当直を行わない、当直明けに日勤を代入しない等) | <ol style="list-style-type: none"> 1 2 1 2 2 2 1 2 1 2 1 2 |
| 勤務負担軽減 | <ol style="list-style-type: none"> 8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。 ⇒ () 時間 | <ol style="list-style-type: none"> 1 2 |

※：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

| | | |
|--------|---|---|
| 勤務負担軽減 | <ol style="list-style-type: none"> 12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している 13. チーム医療や多職種連携 (業務分担・連携の強化等・タスクシフト※) により負担軽減を図っている 14. 電子カルテやタブレット端末等の ICT、IoT 技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる 15. タスクシェア※※による負担軽減を図っている 16. 地域の医療機関との連携 (オープンシステム、外来機能の分担等) を推進している | <ol style="list-style-type: none"> 1 2 1 2 2 1 2 |
|--------|---|---|

※：例) 医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった
※※：例) 複数主治医制を導入した

13. どのようなタスクシフトを行っていますか。()

15. どのようなタスクシェアを行っていますか。()

問 29. 働きやすさ確保に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえれば不満
5. 不満

II 職員の健康支援

| 取組 | 取組 | 取 り 組 み で | 効 果 が 高 い |
|---------|--|-----------------------|-----------------------|
| 職員の健康支援 | 17. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している | 1 | 2 |
| | 18. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 19. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している | 1 | 2 |
| | 20. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている | 1 | 2 |
| | 21. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる | 1 | 2 |
| | 22. 産業医を選任し、職員に周知している | 1 | 2 |

問 30. 健康支援に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえれば不満
5. 不満

III 働きやすさ確保のための環境整備

| 取組 | 取組 | 取 り 組 み で | 効 果 が 高 い |
|-----------------|--|-----------------------|-----------------------|
| 仕事と子育て・介護等の両立支援 | 23. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている | 1 | 2 |
| | 24. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 2 |
| | 25. 院内保育所や提携保育所等を整備している | 1 | 2 |
| | 26. 保育サービス（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している | 1 | 2 |
| | 27. 院内や近隣に学童保育を整備している | 1 | 2 |
| | 28. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている | 1 | 2 |
| | 29. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している | 1 | 2 |
| | 30. 介護短時間勤務制度を導入している | 1 | 2 |
| | 31. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 2 |
| | 32. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 |
| | 33. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している | 1 | 2 |
| | 34. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 |
| | 35. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている | 1 | 2 |
| | 36. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている | 1 | 2 |
| | 37. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 |

33. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください（該当するものすべてに○）

1. 短時間勤務
2. 短日勤務
3. 交代制勤務
4. フレックスタイム制
5. その他（ ）

37. で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組が教えてください。（具体的に： ）

| | | | |
|-----------------------|--|---|---|
| 職員の働きやすさに関する満足度（1つに○） | 38. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している | 1 | 2 |
| 職員の働きやすさに関する満足度（1つに○） | 39. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている | 1 | 2 |
| 風土・環境整備 | 40. 職員の働く満足度の調査を行っている | 1 | 2 |
| 風土・環境整備 | 41. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している | 1 | 2 |
| 風土・環境整備 | 42. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している | 1 | 2 |
| 人事・業務の効率化 | 43. 定期的に職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている | 1 | 2 |
| 人事・業務の効率化 | 44. 複数主治医制を採用している | 1 | 2 |

問 31. 働きやすさに関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

IV 働きがいの向上

| | | | |
|----------|---|---|---|
| 取組 | 45. 施設外の研修への参加を支援している | 1 | 2 |
| キャリア形成支援 | 46. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている | 1 | 2 |
| キャリア形成支援 | 47. すべての職員のキャリア形成支援のために研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている | 1 | 2 |
| キャリア形成支援 | 48. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている | 1 | 2 |
| キャリア形成支援 | 49. 専門資格の取得を支援する制度を設けている | 1 | 2 |
| キャリア形成支援 | 50. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている | 1 | 2 |
| キャリア形成支援 | 51. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている | 1 | 2 |
| キャリア形成支援 | 52. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている | 1 | 2 |

問 32. 仕事の充実感・達成感に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

問 33. 働き甲斐全般に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

V. その他

| 取組 | 取組 り 組 ん で | 効 果 が 高 い |
|---|------------------------|-----------------------|
| 53. 患者満足度の調査を行っている | 1 | 2 |
| 54. 子育て等により負担を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている | 1 | 2 |
| 55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる | 1 | 2 |
| 56. 医師や看護師に対し、賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている | 1 | 2 |
| 57. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている | 1 | 2 |
| 58. その他 () | 1 | 2 |

問 34. 勤務環境全般に関する満足度 (1つに○)

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。
ご協力ありがとうございました。

コメディカル（事務含む）の皆様へ

コメディカルの勤務環境に関するアンケート調査へのご協力をお願い

厚生労働省委託事業 「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく
医療機関の取組に対する支援の充実のための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博（公益財団法人大原記念労働科学研究所）

1. アンケート調査の目的とお願い

平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業による当委員会では、平成 27 年度から病院の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施し、看護職の勤務環境の実態を公表するとともに、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の提言を行っています。

今年度は、これまで実施してきた医師・看護職に加え、医療従事者の状況を幅広く把握するため、コメディカル（事務含む）の皆さんの「働き方・休み方」の現状や勤務環境改善の取組への評価等について把握するためアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。

回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定しています。なお、アンケート調査は無記名であり、回答者が特定されたり、回答者ごとの回答が個別に明らかにされたりは一切ありません。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、令和元年 9 月 20 日（金）までに、「2. 回答方法」に従って回答いただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

2. 回答方法

(1) 途中で WEB ブラウザの「戻る」や「更新」ボタンは押さないようにご注意ください。

(2) 回答開始から 1 時間以内にお答えください。

※1 時間以上離席をされる場合は必ず、画面上部または下部にある「一時保存し終了する」ボタンを押してください。

「途中再開用のパスワード」が発行されます。

※画面上で、希望するメールアドレスにパスワードを送信することも可能です。

(3) 回答を再開する場合は、本アンケートのログイン画面にアクセスし、「途中再開用のパスワード」を入力してください。

途中保存したページから再開することができます。

3. アンケートの回答期限： 令和元年 9 月 20 日（金）まで

4. 本件に関する問い合わせ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 5F

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当：中村、笠原 TEL（フリーダイヤル）：0120-304-603（平日 10：00～17：00）

回答者選定条件

フルタイム勤務の正規職員であるコメディカル（事務を含む、科長などの管理職は除きます。）

●黄色の着色部分は条件により表示されません。

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 女性 2. 男性 3. その他・答えたくない

問 3. あなたの職種を教えてください(1つに○)

1. 薬剤師 2. 臨床検査技師 3. 診療放射線技師 4. 臨床工学士
5. 理学療法士・作業療法士などリハビリテーション職 6. 栄養士（管理栄養士含む）
7. MSW・PSW 等ソーシャルワーカー 8. 歯科衛生士 9. 事務
10. 医師事務作業補助者 11. その他（ ）

問 4. あなた自身の主な勤務形態を教えてください。(1つに○)

1. 3交代制（変則含む）※

2. 2交代制（変則含む）※

3. 夜勤専従

4. 夜勤シフトに入っていない

5. 日勤のみ

6. それ以外（ ）

7. わからない

※：交代制勤務には 24 時間を 2 つのシフトに分ける「2 交代制」や「3 交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一なタイプのほか、変則的なタイプ（夜勤時間 9～10 時間の変則 3 交代制、夜勤時間 13～16 時間の変則 2 交代制など）がある。

問 5. あなたの現職種におけるキャリア（通算経過年数）を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。(1つに○)

1. 1 年未満 3. 3 年未満 5. 10 年未満 7. 20 年以上

2. 2 年未満 4. 5 年未満 6. 20 年未満

問 6. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めず、回答してください。(数字を記入)

() 年

問 7. 貴医療機関の開設主体を教えてください。(1つに○)

1. 国等(厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等(都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他(公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 8. あなたが主に勤務する病床機能を教えてください。(1つに○)

1. 高度急性期
2. 急性期
3. 回復期
4. 慢性期

高度急性期：急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けて、医療を提供する機能
回復期：急性期を経過した患者への在宅復帰に向けて医療やリハビリテーションを提供する機能等
慢性期：長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能等

＜労働時間について伺います＞

問 9. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問 10. あなたの職場の労働時間の把握方法を教えてください。(1つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. ICカード
3. 電子カルテなどのログ
4. 出勤簿・管理簿
5. 自己申告
6. その他()
7. 労働時間を管理していない

問 11. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(1つに○)

1. 45時間以下
2. 45時間超～80時間以下
3. 80時間超～100時間以下
4. 100時間超～

問 12. あなたの平成30年1年間のおおよその時間外労働時間数(所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く)を教えてください。(1つに○)

1. 360時間以下
2. 360時間超～960時間以下
3. 960時間超～1860時間以下
4. 1860時間超～

問 13. あなたの令和元年6月の1か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申告しなかったおおよその時間を教えてください。(全て申告している場合は0を記入)

(数字を記入)

おおよそ()時間を申告していない

問 14. あなたの令和元年6月の1か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。(該当するものすべてに○)

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他(具体的に：)

問 15. あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。(1つに○)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 15-2へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 15-1へ

問 15-1. あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください

い。(該当するものすべてに○)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決まっているから
4. 自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから
5. 仕事に未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他 ()

→10を回答した場合は、何時間残業が含まれているかご存じですか。

知っている () 時間・ 知らない

問 15-2. あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。

(1つに○)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカード・電子カルテのログ等の記録のとおりを支払われている (制限なし)
2. 自己申告した時間どおりに支払われている (制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働手当は支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

＜休日・休暇について伺います＞

問 16. あなたの令和元年6月の①所定休日数(※)及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください
 ください。(数字を記入)

※：所定休日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日数 1. () 日 2. わからない
 ②実際に業務を休んだ日数 () 日

問 17. あなたの平成30年度の①年次有給休暇の付与日数(※)と②有給取得日数を教えてください。
 さい。(数字を記入)

※：年次有給休暇の付与日数とは、1年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
 ②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

【一般の労働者の場合の例】

| | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 継続勤務年数 | 0.5 | 1.5 | 2.5 | 3.5 | 4.5 | 5.5 | 6.5以上 |
| 付与日数 | 10 | 11 | 12 | 14 | 16 | 18 | 20 |

問 18. あなたは主とす勤務先以外で定期的にアルバイトを行っていますか。(1つに○)

1. 行っている 2. 行っていない

→1を回答した場合は、1か月あたりおおよそ何日、合計何時間行っていますか。

() 日 () 時間・わからない

→1を回答した場合、アルバイトを行っていることを主契約の医療機関等に届け出ていますか。(1つに○)

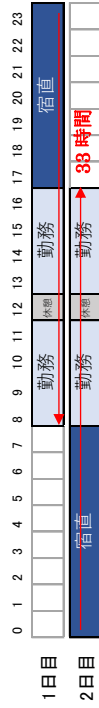
1. アルバイト先、時間ともに届け出ている 2. アルバイト先のみ届け出ている
 3. 時間のみ届け出ている 4. 届け出ていない
 5. 主契約先がわからない

<当直・夜勤等について伺います>

問 19. あなたの令和元年6月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間（職場に最も長くいた時間）について伺います。①当直（宿直・日直）時間を含む、勤務割上（※）の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）を教えてください。（数字を記入）

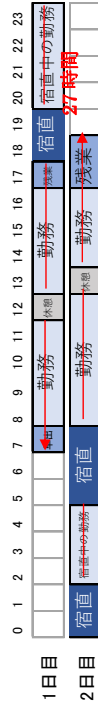
- ①当直（宿直・日直）時間を含む最長拘束時間 約（ ）時間（ ）分
- ②①の実際の労働時間（休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む）

①最長拘束時間の例:33時間 約（ ）時間（ ）分



②①における実際の労働時間の例:27時間

(勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間)



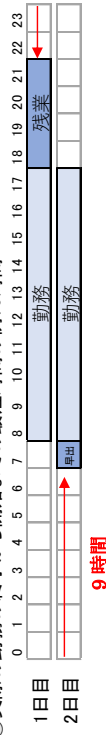
※：シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 20. あなたの令和元年6月のある勤務日の勤務（時間外労働を含む。）の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①令和元年6月の勤務割上の最長時間と②実際の最長時間を教えてください。（数字を記入）

①勤務割上の最長時間 約（ ）時間（ ）分

②実際の最長時間 約（ ）時間（ ）分

③実際の勤務の終了から開始までの最長時間の例:9時間



問 20-1. あなたは、問 20 で回答したような短い間隔になることが、月にとどのくらいありますか。(1つに○)

- 1. よくある
- 2. とまどきある
- 3. めったにない

<勤務環境等について伺います>

問 21. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(1つに○)

- 1. 睡眠は十分に取れていた
- 2. 睡眠は比較的とれていた
- 3. どちらともいえない
- 4. 睡眠はあまりとれていなかった
- 5. 睡眠は不足していた

問 22. あなたは時間外労働時間を減らしたいと考えていますか。(1つに○)

- 1. 減らしたい
- 2. どちらでもよい
- 3. 減らしたくない
- 3 を回答した場合、「減らしたくない」理由を教えてください(最もあてはまるもの1つに○)

- 1. 研鑽をつみたい
- 2. 生活費を確保したい
- 3. 他の人より早く帰りたい
- 4. 患者の状態を確認しないと気がすまない
- 5. 緊急時に対応したい
- 6. その他（ ）

問 23. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つに○)

- 1. 健康である
- 2. どちらかという与健康である
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかという与健康ではない
- 5. 健康でない

問 24. あなたは平成30年度に健康診断を受診しましたか。(1つに○)

- 1. 受診した
- 2. 受診しなかった
- 2 を回答した場合、「受診しなかった」理由を教えてください（ ）

問 25. あなたは平成30年度にストレスチェックを受診しましたか。(1つに○)

- 1. 受診した
- 2. 受診しなかった
- 2 を回答した場合、「受診しなかった」理由を教えてください（ ）

問 26. あなたは平成30年度に、長時間労働にかかる医師による面接指導を受けましたか。(1つに○)

- 1. 受けた
- 2. 受けなかった

問 27. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(該当するものすべてに○)

I 働き方・休み方改善

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|--------|---|----|----|----|----|
| 労働時間管理 | 1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 2. 1回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 3. 年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 4. 夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等）を行っている | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 5. 夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 勤務負担軽減 | 8. 勤務間インターバル制度(*)を導入している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 9. 補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 10. 正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 11. 当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等） | 1 | 2 | 1 | 2 |

8. で「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。
⇒ () 時間

※：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

| | | | | | |
|--------|--|---|---|---|---|
| 勤務負担軽減 | 12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 13. チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等・タスクシフト※）により負担軽減を図っている | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 14. 電子カルテやタブレット端末等のICT、IOT技術を活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 15. タスクシフト※による負担軽減を図っている | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 16. 地域の医療機関との連携（オープンシステム、外来機能の分担等）を推進している | 1 | 2 | 1 | 2 |

※：例）医師が行っていた事務的作業を医師事務作業補助者がサポートするようになった
※※：例）複数主治医制を導入した

13. どのようなタスクシフトを行っていますか。()
15. どのようなタスクシフトを行っていますか。()

問 28. 働き方全般に関する満足度 (1つに○)

- 満足
- どちらかというと満足
- どちらともいえない
- どちらかというと不満
- 不満

II 職員の健康支援

| 取組 | 取組 | 取組 | 取組 | 取組 | 取組 |
|---------|--|----|----|----|----|
| 職員の健康支援 | 17. 健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 18. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 19. 職員のメンタルヘルズ教育研修を実施している | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 20. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルズ対策の取組を行っている | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 21. 作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる | 1 | 2 | 1 | 2 |
| | 22. 産業医を選任し、職員に周知している | 1 | 2 | 1 | 2 |

問 29. 健康支援に関する満足度 (1つに○)

- 満足
- どちらかというと満足
- どちらともいえない
- どちらかというと不満
- 不満

III 働きやすさ確保のための環境整備

| 取組 | 取組 | 取組 | 効果が高い |
|--|----|----|-------|
| 23. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている | 1 | 2 | 2 |
| 24. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 2 | 2 |
| 25. 院内保育所や提携保育所等を整備している | 1 | 2 | 2 |
| 26. 保育サービス（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している | 1 | 2 | 2 |
| 27. 院内や近隣に学童保育を整備している | 1 | 2 | 2 |
| 28. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている | 1 | 2 | 2 |
| 29. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している | 1 | 2 | 2 |
| 30. 介護短時間勤務制度を導入している | 1 | 2 | 2 |
| 31. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している | 1 | 2 | 2 |
| 32. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 | 2 |
| 33. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している | 1 | 2 | 2 |
| 34. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 | 2 |
| 35. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている | 1 | 2 | 2 |
| 36. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている | 1 | 2 | 2 |
| 37. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している | 1 | 2 | 2 |

仕事と子育て・介護等の両立支援

33. で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください。（該当するものすべてに○）

1. 短時間勤務
2. 短日勤務
3. 交代制勤務
4. フレックスタイム制
5. その他（ ）

37. で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組か教えてください。（具体的に）

| | | | |
|----------------|--|---|---|
| 職員のメンタルケア対策の取組 | 38. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している | 1 | 2 |
| | 39. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている | 1 | 2 |
| 風整 | 40. 職員の働く満足度の調査を行っている | 1 | 2 |
| 士・ | 41. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室を整備している | 1 | 2 |
| 環境 | 42. 職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している | 1 | 2 |
| 備 | 43. 定期的に職員の希望を把握し、配置や業務面の配慮をしている | 1 | 2 |
| 人 | 44. 複数主治医制を採用している | 1 | 2 |
| 字 | | | |
| 材 | | | |
| 礼 | | | |

問 30. 働きやすさに関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらともいえない
4. どちらかというと不満
5. 不満

IV 働きがいの向上

| 取組 | 取 り 組 ん で | 効 果 が 高 い |
|---|-----------------------|-----------------------|
| 45. 施設外の研修への参加を支援している | 1 | 2 |
| 46. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている | 1 | 2 |
| 47. すべての職員のキャリア形成支援のために研修や子育てとの両立支援等に関する相談窓口の設置、情報提供等が実施されている | 1 | 2 |
| 48. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている | 1 | 2 |
| 49. 専門資格の取得を支援する制度を設けている | 1 | 2 |
| 50. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等）を行っている | 1 | 2 |
| 51. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有形奨励職員制度が導入されている | 1 | 2 |
| 52. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている | 1 | 2 |

414

問 31. 仕事の充実感・達成感に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえれば不満
5. 不満

問 32. 働き甲斐全般に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえれば不満
5. 不満

V. その他

| 取組 | 取 り 組 ん で | 効 果 が 高 い |
|---|-----------------------|-----------------------|
| 53. 患者満足度の調査を行っている | 1 | 2 |
| 54. 子育て期により配置を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている | 1 | 2 |
| 55. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる | 1 | 2 |
| 56. 通常診療時間外の病状説明は避けるなど患者家族に働き方改革の理解を求めている | 1 | 2 |
| 57. その他（) | 1 | 2 |

問 33. 勤務環境全般に関する満足度（1つに○）

1. 満足
2. どちらかという満足
3. どちらともいえない
4. どちらかといえれば不満
5. 不満

以上でアンケート調査は終了です。
ご協力ありがとうございました。